



ライブラリー情報



新刊案内

松前町
ふるさとライブラリー
☎985-4140

今月の休館日 31日(本の整理日)

無言歌	赤川次郎	著
十津川警部湯けむりの殺意	西村京太郎	著
氷の人形 (アイス・ドール)	森村誠一	著
美しい国へ	安倍晋三	著
赤い指	東野圭吾	著
君がくれたもの	Chaco	著
ロサンゼルスBB連続殺人事件	西尾維新	著
東京ダモイ	鍋木 蓮	著

●おはなしかい●

日時 10月21日(土) 11時
場所 文化センター2階 第2研修室

絵本やかみしばい、パネルシアターなどを使って毎回楽しいおはなしをします。皆さん、ぜひ来てみてください。

松前町内の街頭犯罪等発生状況 (8月中)

種 別	発生	累計	前年(土)
侵入盗	4件	41件	35件(+6)
自動車盗	0件	1件	3件(-2)
オートバイ盗	3件	20件	8件(+12)
自転車盗	10件	43件	36件(+7)
車上ねらい	2件	44件	19件(+25)

安全は一人ひとりの意識から
安心は人のつながり地域から

伊予地区防犯協会・伊予警察署

資格商法の二次被害にご注意!

★資格商法とは

職場や自宅に電話をかけてきて、「受講すれば資格が取れる」「就職や転職に有利」などと執拗に勧誘し、講座の受講や教材の購入を迫るもの。

★相談の多い資格商品

行政書士、宅地建物取引主任者、中小企業診断士などの資格講座・教材

★予防と対策

- 資格の内容をよく調べて、本当に必要かどうかをよく考えること。
- あいまいな返事はトラブルのもと。要らないものは毅然とした態度できっぱりと断る。
- 契約から8日以内ならクーリング・オフができる。

★二次被害が増加

過去に、電話勧誘などで資格講座を受講していた方が、「資格を取得するまで契約は終了していない」と言われて新たな契約を結んだり、「解約するには解約手続が必要」などと偽りの説明を受け、解約手数料を払ったりするという『二次被害』のトラブルが増加しています。

【消費生活に関する相談窓口】

役場産業課商工水産係 ☎985-4120

愛媛県消費生活センター ☎925-3700

自分のこととして

伊予高等学校 崎山 普史

今年4月に本校1年生(363名)に対して人権・同和教育に関するアンケートを実施しました。

そのうち、「様々な法律や制度、教育・啓発活動により、人々の人権意識は高まり、差別や偏見のない社会は実現しつつある」に対して、「そう思う」と回答した生徒が15%、「思わない」が30%、「どちらとも言えない」が55%でした。この数字を見て私は、現代社会の問題点を鋭く見抜いているなどという感想とともに、約85%もの消極的な回答をどう好転させるかという難題を背負わされた気がしました。

「差別は人間が作り出したものであり、また、そうだからこそ、人間自身で必ずなくすことができる」という強い意志や、そのための実践力をどのように生徒に身に付けさせるか。私は、その有効な方法の一つがロールプレイング(役割演技)だと考え、「同和問題と結婚差別」の学習の際に試みたことがあります。

被差別部落出身の男性との結婚を望む女性、その父親と母親、そして自分にも恋人がいて彼との結婚を考え始めている妹の4役を、台本なしでそれぞれの人物になりきって演じてもらいました。すべてアドリブで演じることに最初はとどどついていた生徒も、次第に役に入り込み、迫真の演技で観衆をどんどん引き込みながら、約15分間を終えました。

そして、この後のクラス討論も活発になり、「部落差別や同和問題についての理解が不十分である」「娘(姉)の幸せというよりも、周囲(世間)からみられる自分の立場を、父・母・妹のそれぞれは第一に考えている」などが次第に浮き彫りにされ、生徒に「ひとごと」ととらえさせない人権・同和教育の実践に少し近づけた気がしました。日常生活の中での実践に留意した人権・同和教育の深化をめざし、さらに努力を続けたいと考えています。